

ごけん

平成 29 年 **秋** 号

日本語検定 実施予定

平成 29 年度第 2 回 (通算第 22 回)

[一般会場] **11月11日(土)**

[準会場] **11月10日(金)・11日(土)**

[申込期間] **8月1日(火)~10月13日(金)**

後 援：文部科学省／日本商工会議所
経団連事業サービス／全国連合小学校長会
全日本中学校長会／全国高等学校長協会
全国工業高等学校長協会／全国商業高等学校長協会
全国高等学校国語教育研究連合会
日本 PTA 全国協議会
全国高等学校 PTA 連合会
日本青少年育成協会 他

特別協賛：読売新聞社

協 賛：時事通信社／東京書籍



もくじ

ごけんメッセージ 渡辺恵子	2
ごけん情報板	4
採点室から	5
会場レポート	6
日本語大賞について	7
受検団体の声	8
にほんごん にほんご劇場	10
受検案内／プレゼント・クイズ	12

日本語検定公式キャラクター「にほんごん」

特定非営利活動法人

 **日本語検定委員会**



読んで出会った言葉、 書いて伝えたい言葉

おのぼりさん

私たちは言葉を、呼吸するのと同じようにごく普通に使って、話したり聞いたりしているが、ときとして言葉が人を喜怒哀楽へ導くこともある。

栃木県から上京し、ある会社の営業部に配属されて間もない頃であった。当時の私の仕事は電話番、伝票整理と、お茶汲みくらいのものであった。

電話のベルがけたたましく鳴り響いた。私は恐る恐る受話器を取り、「もしもし ○○電機でございます。いつもお世話になっております」と、マニュアルどおりの挨拶をした。「ん……？ あなた 東北の人？」

と、流暢な男性の言葉が私の耳に突き刺さった。私は一瞬、言葉を失い、相手が何を話していたのか聞き取ることもできず、ただ全身に汗を流すばかりだった。

昭和32年当時は「おのぼりさん」という言葉が大流行していて、私も「おのぼりさん」コンプレックスに陥っていた。

そして、私にはもう一つコンプレックスがあった。私は高校を出ていない。学

力は優に達していたが、家庭の事情で行けなかった。

「働きながら夜間高校に通う」と意気込んで上京したものの、現実には私が考えたほど生やさしいものではなかった。やむなく夜間高校を断念し、可能な限り読書で学び取ろうと考え、それを実行に移した。

我以外皆我師

生来の読書好きで、さまざまな本を読み、あまたのすばらしい言葉に出会った。

愛読していたのは、吉川英治の歴史小説だった。ことに私が心惹かれたのは、心象風景や、草木を渡る微風^{そよかぜ}、衣ずれのかすかな音、四季折々の花鳥風月の移ろいなど。五感に訴える言葉に心和み、もう1ページ、もう1章と、読者をつかんでほさない文章は、言葉の魔術師!? と思えるほどで、ただただ感じ入るばかりだった。

なかでも「我以外皆我師」という言葉に深い感銘を受けた。「誰からでも、何からでも学べる」。なんとすばらしい言葉だろう。私はこの言葉から、学び続け

る原動力を得た。

だが、世間知らずの「おのぼりさん」であることは、悔しいけれど認めざるを得なかった。

私と同世代の女性はどういう環境のもとに生い立ち、戦中を生き抜き、どんな教育を受け、どのような書物を読み、社会人として恥ずかしくない女性に成長したのだろうか……？

そこで、向田邦子のエッセイを読み漁った。著者は私より6歳年上で、私の人生の道しるべになるのにふさわしい人だと信じたからだ。

彼女の飾り気のない言葉遣いには、臨場感をもって読者を引き込む力があつた。教養をひけらかすことなく読み手に語りかけ、そして納得させる話術の巧みさ。それに私は酔いしれ、共に笑い、共に喜び、悲しみ、怒り、恐れおののき、しみじみとうなずき、涙ぐんだ。そして、同時代の先輩の足跡をたどりながら歩む感覚も覚えた。今でも愛読しており、文章を書くうえで師とも仰いでいる。

エッセイを書く

妹のひと言がきっかけとなって、私は2年前からエッセイを書くようになり、それを投稿することを始めた。執筆には、これまで多くの本を読み、いろいろな日本語に触れて感動してきたことが役に立っていると思う。

まず第一に、自分の言葉で表現し、自己満足ではなく、読者にいかに共感してもらえるかを考えて書くことを心がけ

た。句読点や「てにをは」次第で文意が変わってくる日本語の難しさに気づかされ、同じような意味を表す複数の言葉をもつ、微妙なニュアンスの違いにも関心を深めた。

エッセイを書き、それを投稿することを出発点として、自信と勇気を得た。

なかでも一番大きな自信になったのは、「日本語大賞」に挑戦し、「文部科学大臣賞」という大輪の花を咲かせ結実させたことだ。

このことで、私は「学んだことには必ず結果が伴う」という確信を得ることができた。

日本人が誇れる言葉

「^{ささめゆき}細雪」「^{かざはな}風花」「^{のわき}野分」といった季節感にあふれる言葉や、その土地土地の方言の、懐しさのこもった言葉。日本語は、美しく、優しく、そして難しく、また懐しさのこもった言語で、外国語にはとても訳しきれない繊細な言葉がたくさんある。それが私たち日本人の誇れる母語なのである。

言葉は古来絶えず変化を繰り返し、現在に至っている。私自身は、日本語本来の言葉を大切に、安易に簡略化したりせず、次世代にも語り継ぎたいと思っている。

渡辺 恵子 (わたなべ けいこ)

1935年生まれ。栃木県出身。

日本語検定委員会が主催する、第8回「日本語大賞」の一般の部で文部科学大臣賞を受賞。

北野生涯教育振興会の懸賞論文(2015年)で佳作、第6回「養徳社エッセイ賞」特別賞、第20回「ふくい風花随筆文学賞」最優秀賞 福井県知事賞なども受賞。

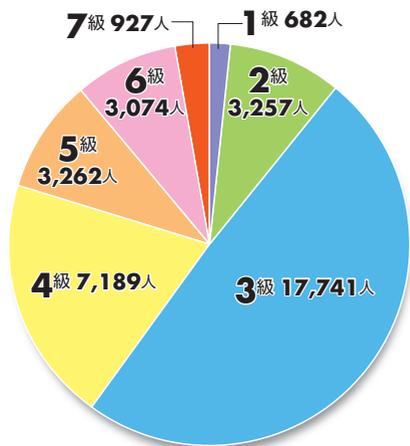
ごけん情報板

このコーナーでは、今年6月に実施いたしました、平成29年度第1回（通算第21回）日本語検定について、各級の受検者数などのデータをご紹介します。

◎平成29年度第1回（通算第21回）日本語検定

■受検者総数と級別受検者数

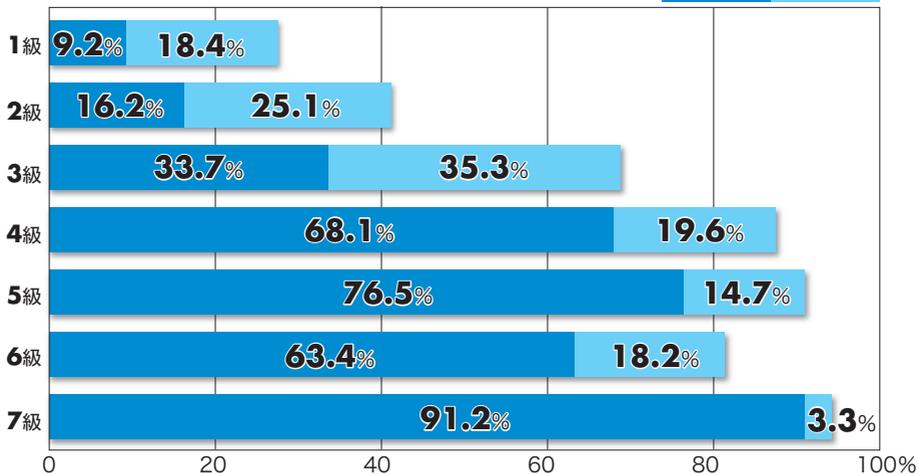
総数 **36,132**人



■受検者の属性別割合



■各級の認定率



採点室から

29年度第1回の問題より

2～4級で、「漢字を書く」ことが含まれている、正答率が低かった問題をご紹介します。

■4級では、□に入る適切な漢字一字を選んで、四字熟語を完成させる問題が出されています。

一 彼は五大陸最高峰に全て単独登頂するという、当時としては前□未到の偉業を成し遂げた。

[1 世 2 代 3 人]

(正答率 47.9%)

★「前人未到」(ぜんじんみとう)となる3が正答です。2「代」を選んだ人も、正答を選んだ人とはほぼ同じ割合でした。

二 内村君は、誰にでも分けへだてなく親切で優しい公平無□の人だから、ぜひ生徒会長に推薦したい。

[1 私 2 欲 3 欠]

(正答率 27.7%)

★「公平無私」(こうへいむし)となる1が正答です。2「欲」と答えた人が38.0%、3「欠」と答えた人が33.7%で、どちらも正答を選んだ人より割合が高かったです。

■3級では、二つの文の□に共通して入る適切な漢字一字を書いて、四字熟語や慣用句を完成させる問題が出されています。

一 ア 新政権の前途多□を思わせるようなニュースが、今朝飛び込んできた。

イ 今年の二の舞にならぬよう、来年の受験には万□を排して臨む所存です。(正答率 51.2%)

★(正答)「難」が入ってアは「前途多難」(ぜんとたなん)、イは「万難を排して」(ばんなんをはいして)となります。

(誤答例)「用」「様」

二 ア 彼女は□進気鋭の人気漫画家で、多くの雑誌に連載を抱えている。

イ ベテラン女優が、十年ぶりに出演した映画で賞を総なめにし、面目を一□した。

(正答率 27.6%)

★(正答)「新」が入ってアは「新進気鋭」(しんしんきえい)、イは「面目を一新」(めんぼくをいっしん)となります。

(誤答例)「目」「前」「掃」

■2級では、□に入る適切な漢字一字を書いて、四字熟語を完成させる問題が出されています。

一 紛争地帯への自衛隊の派遣について、野党は、□頭□尾、反対の方針を貫いた。

※同じ漢字が入ります。

(正答率 38.4%)

★(正答)「徹」が入って「徹頭徹尾」(てつとうてつび)となります。

(誤答例)「千頭千尾」「首頭首尾」「竜頭竜尾」

二 急にスピーチを求められても、その場に合わせて当□即妙に挨拶をする彼がうらやましい。

(正答率 33.0%)

★(正答)「意」が入って「当意即妙」(とういそくみょう)となります。

(誤答例)「当日即妙」「当時即妙」「当座即妙」

今回は、「四字熟語」に関する問題を取り上げてみました。ここにある言葉は、受検者のみなさんみどころかみていくことが多いと思われるのですが、それぞれの意味や用法を正確に理解していないことでつまづいてしまっているようです。正確に意味を理解していないために山勘で答えたような誤答も多くみられました。四字熟語では、漢字の意味を正確に理解するとともに、その用法が文脈に合っているかどうかにも注意を払うことが大切です。

東京23区会場・大正大学



去る6月10日(土)、全国88か所の一般会場で、平成29年度第1回日本語検定が実施されました。今回、東京23区の一般会場となったのは、豊島区西巣鴨にある大正大学で、1級から7級まで合計963名が受検しました。

検定当日は最高気温が30度を超える真夏日となり、会場まで日傘を差して歩く女性も多く見られました。また、会場となった10号館の各階のロビーには、小学生の受検者に付き添うお母さんたちの姿もありました。

各教室を覗いて見ると、次々に入室してくる受検者を、監督者たちが慣れた様子でできばきと誘導していました。着席した受検者は一様に、すぐに問題集や単語集を開き、寸暇を惜しむように受検準備に勤しんでいました。

今回の取材で印象的だったのは、日本語が母語ではない受検者が意外に多いことでした。今回も時事通信社の升谷昇記者のご協力を得て、何人かに受検動機などを聞いてみました。

2級の会場には、日本の大手家電メーカーに勤務しているという30代の中国人女性がいました。普段は展示場で国内外からの来場者に商品説明を行う仕事をしているそうで、かなり流暢な日本語でインタビューに応じてくれましたが、将来は貿易の仕事をしたいので、敬語など商談に役立つ日本語をもっと習得したいという理由で受検することにしたとのことでした。

6級の会場には、外国にルーツを持つ小学生の受検者が何人か見受けられたほか、20代のアメリカ人女性もいました。法律関係のコンサルティング会社に勤めているという

その女性は、普段は英語で業務を行っているようですが、自分の日本語の力を試してみたいということで受検することにしたとのことでした。

今回の会場取材では、日本語検定の受検者のみならず、日本語話者そのものが多様化しつつあるのを強く印象づけられました。



第9回「日本語大賞」作品募集

日本語検定委員会は、日本語の持つ美しさや言葉の力を見直すために、日本語をテーマとしたエッセイや作文を募集する「日本語大賞」を主催しています。

テーマ：「ちょっと気になる日本語」

*テーマについて、自由な発想で書いてください。

作品にはテーマにふさわしい独自のタイトルを必ずつけてください。

【募集期間】平成29年6月1日（木）～9月30日（土）

【部門・字数】（※字数は目安です）

- ◆一般の部 2000字～3200字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞2点／佳作5点
- ◆高校生の部 1200字～2000字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞2点／佳作5点
- ◆中学生の部 1200字～2000字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞3点／佳作5点
- ◆小学生の部（高学年） 600字～1200字
（中・低学年） 400字～1000字
表彰：文部科学大臣賞1点／優秀賞3点／佳作5点

【応募方法】

日本語検定ホームページをご覧ください。

<https://www.nihongokentei.jp>

【作品送付先／お問い合わせ】

特定非営利活動法人  日本語検定委員会 日本語大賞係

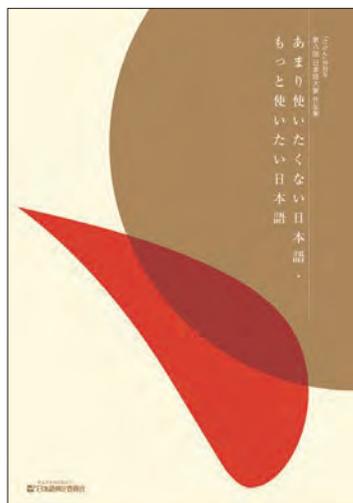
〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1

☎ 03-5390-7472

✉ contest@nihongokentei.jp

*過去の受賞作品は、日本語検定のホームページで
ご覧いただけます。

第8回日本語大賞 作品集『あまり使いたくない日本語・
もっと使いたいの日本語』



私の日本語を褒めてほしい！

常磐大学高等学校 秋津 由佳先生



本校は、男女共学の私立高校で、約 1200 人の生徒の 80%が部活動に入っています。高校 2 年生の後半になって、ようやく将来について考え始める生徒も少なくありません。

ある日の現代文の授業で、敬語のテストを 5 分間実施しました。答え合わせで、思いのほか盛り上がりました。運動部の生徒の正答率がすばらしく、「全問正解したよ！」と満面の笑み。先生や先輩にきちんと敬語を使っていた経験が大いに役に立ったようです。

コミュニケーションは人を育てるといいますが、それが点数になって褒められる機会は確かに多くはありません。「これは何の問題だったんですか」と思わず質問する生徒。完璧だと思っていた日本語の間違いに愕然とする生徒。「実はね、これは私の夫が勤務先の市役所で団体受検した日本語検定の問題よ！」と種明かしすると、一気に神妙な顔に。「皆さんは、就職して社会人になってから 40 年以上働くんだよ。きちんとコミュニケーションができるようになっておかないとね」と話すと、「もっと勉強したい」という生徒もいたので、時々授業に練習問題を登場させました。それぞれの苦手分野がすぐわかるので、やる気が出てきて、「3 級を受検してみたい」という希望者も出てきました。

まだまだ受検者も合格者も少ないですが、領域ごとの得点率が刺激になっているようです。誰からも褒められる、一流の日本語を身につけるために、日本語のタネを育てて欲しいなと思っています。

日本語を正しく使える保育者を育てる

竹早教員保育士養成所 副所長 河野 紀之先生



本校は、幼稚園教員、保育士を育てる保育者養成校です。

保育者は、保育の現場で、適切な言語表現が要求されます。それは、子どもとの関わりにおいて、子どものモデルとしての言葉遣いが必要とされるからです。保育者が意識するしないにかかわらず、子どもは保育者をまねて、生活様式を身につけていきます。

また、子どもを預ける保護者から見れば、保育者の言語表現に信頼が左右されます。

一方、子どもを取り巻く社会環境は、適切な言語環境であるとは言いきれません。

「ことばの力」を立て直す

佐賀大学 教育学部 准教授 竜田 徹先生



日本語検定を受検した大学生の一人は、その動機や勉強方法について次のように述べた。「受けた理由は、国語の教師になるなら、何か、国語に関する検定を受けたいと思ったからです。日本語検定は言語の検定だから勉強する範囲が広くて深く難しい、というのが受検しての感想です。敬語や総合問題などは何となくできますが、語彙や漢字は、検定前に学習する量が膨大でした。自分はここが苦手だろうと、語彙と漢字にしぼって勉強したのが良かったと思います」(2級合格者)。

「敬語や総合問題などは何となくできる」と述べているのは、それまでの知識や生活経験が活用されるということであろう。これに対して「語彙や漢字」は、既有知識や経験を基にして解くには限界があり、新たに習得しなければ点数は伸びないと捉えているのであろう。

検定問題に接して、この学生のように「日本語検定は言語の検定だから勉強する範囲が広くて深く難しい」と身をもって気づくこと。そこには、大きな意味があると思う。高校までの国語学習を日本語検定の中に位置づけることによって、それまでに身につけてきた「ことばの力」が相対化され、新たな学習のきっかけが得られる。国語科の授業や受験勉強ではさほど取り上げられなかった「ことばの力」があることに気づかされるかもしれない。

日本語検定は、「ことばの力」の枠組みを揺さぶり、立て直すきっかけの一つになる。学生たちにそういう出会いが生まれることを期待している。

だからこそ、保育者には正しい言語、適切な表現を知識として身につけるとともに、日々実践することが要求されるのです。

保育者を目指す学生にも、正しい言語、適切な表現が期待されます。保育者になるためには、教育実習や保育実習という、現場での体験学習が必要です。そこで、学生は厳しい洗礼を受けるのです。実習日誌における正しい文字、適切な文章表現、そして園長をはじめとする指導者に対する敬語などに、それまでの積み重ねが表れます。

こうした中で日本語検定では、日本語の総合的な能力をみることができ、個々の課題がはっきりします。検定が実施され始めた当初より、本校の多くの学生が受検していますが、全員が受検するわけではなく、希望者のみであるため、受検者数が一定していないところが残念です。受検者の成果を生かすとともに、学生が受検に対する意欲を高められるよう、更に努力していきます。

にほんご にほんご劇場



絵：福政 真奈美

はちく いきお 「破竹の勢い」

(竹ははじめのひと節を割れば、あとは押すだけで割れることから)

止めることができないほど猛烈な勢いがあること。

【例】初出場のこの学校は、破竹の勢いで決勝戦まで勝ち進んできた。



IMAGINE 2020

Printed By TOPPAN



TOPPAN



東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

ひとり、ひとりに情報のカタチを。



ひとり、一人に、「伝える」こと。



一人、ひとりに、「伝える」こと。



明細票や宅配伝票など
誰もが利用しているビジネスフォーム。
私たちは、ビジネスフォームの
トップメーカーとして情報をデザイン
することで社会と繋がっています。

トッパン・フォームズ株式会社

本社 〒105-8311 東京都港区東新橋1-7-3 TEL.03-6253-6000 <http://www.toppan-f.co.jp/>

TOPPAN FORMS

【知ったかぶり】



ビッグデータ？
あれ、大変よね。
ウチ収納スペース
少ないのよ。



おためし
読売新聞



お申し込みはこちら

新聞で【知ったかぶり】に、さようなら。

ネットで簡単、1週間無料。



フリーダイヤル

0120-4343-81

受付時間：平日9:00-21:00 ※休日は読売新聞センターへ

読売新聞社印刷部

お客様の個人情報、読売新聞社及びお客様の
地域を担当する読売センター（Y.C）が共同で
取得・管理し、配達・集金業務の遂行、各種サー
ビス・イベントのお知らせ、ご購読の延長・再
開のお勧め、Y.C及び読売グループが協力す
る・提供する企業等の商品・サービスのご案内、
宅配業務などに利用させていただきます。

平成29年度
第2回
日本語検定
受検案内

[一般会場] 11月11日(土)
[準会場] 11月10日(金)・11日(土)
[申込期間] 8月1日(火)～10月13日(金)
[実施都市] 全国の約90都市で実施予定

[受検級の目安と受検料] ※受検料は税込価格です。

受検級	各級のレベル	受検料	受検時間	受検の目安						
				社会人	大学生	高校生	中学生	小学校 高学年	小学校 中学年	小学校 低学年
1級	社会人上級レベル	6,000円	60分							
2級	大学卒業レベル～ 社会人中級レベル	5,000円								
3級	高校卒業レベル～ 社会人基礎レベル	3,500円								
4級	中学校卒業レベル	2,000円	50分							
5級	小学校卒業レベル	1,500円								
6級	小学校4年生レベル	1,500円								
7級	小学校2年生レベル	1,400円								

公式ホームページ <https://www.nihongokentei.jp>

プレゼント・クイズ

問題：「にほんご にはほんご劇場」で取り上げた慣用句は何でしょうか。
○の部分を持って完成させてください。

「破○の勢い」

抽選で5名様に、オリジナル『にほんごクリアファイル』『にほんごメモ』セットをプレゼントいたします。はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先（お電話番号またはメールアドレス）を明記のうえ、日本語検定委員会までお送りください。平成29年11月30日の消印まで有効です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

(応募の際の個人情報は、本プレゼント以外では使用しません。)



特定非営利活動法人
日本語検定委員会

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1

[お問い合わせ先] 0120-55-2858

<https://www.nihongokentei.jp>

ごけん 平成29年秋号 (No.22)